

【現代社会学部】令和7年度 学部教学マネジメント計画書

3つのポリシーに基づいた学修者本位の教育の実現に向けて、学部教学マネジメントに関する以下の観点について各学部で計画・実行・検証し、次年度以降の改善に繋げることとする。

1. 学部における教学マネジメントの組織体制

現代社会学部では、学部教務委員会および学部自己点検・評価委員会を設置している。

学部教務委員会は、両学科から5名ずつ合計10名の教員により構成され、学部長、副学部長、両学科主任を含む。学部自己点検・評価委員会は、両学科から合計7名の教員により構成され、学部長、副学部長、両学科主任を含む。

学部教務委員会では、学部全体の教学の企画立案や施策実施に当たるとともに、各学科から提案される事項を審議する。学部全体に関わる事項、学科から提案された事項は、学部教務委員会での審議を経て、教授会における審議事項・報告事項となる。

学部および学科において、以下のような形で教学マネジメントが実施される。

Plan: 学部全体に関わる課題については、学部教務委員会において検討を行い、計画を立案する。また、各学科に関わる課題については、学科教務委員を中心に検討を行い、学科会議にて計画等を立案する。その後、学部教務委員会及び教授会における審議を経て決定する。

Do: 教授会での決定事項に従い、学部ないし学科の各種委員会または教員において実施する。

See: 学部自己点検・評価委員会にて年度毎に評価を実施し、顕在化した課題については、教授会を通じて学部教務委員会ないし各委員会、あるいは学科会議にフィードバックされる。

2. 体系的かつ組織的な教育課程の編成・実施を支える各ツールの課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題

① カリキュラムマップ

現行カリキュラム及び令和8年度から開始予定の新カリキュラムとの間の変更点や、整合性をチェックし、両カリキュラム間での齟齬をなくし、スムーズな移行を行う必要がある。

② シラバス

「14回+オンデマンド授業」への変更に伴う、記載法の統一や、新カリキュラムの内容を確認する必要がある。

③ その他（カリキュラムツリー、ナンバリング等）

「3つのポリシー点検・見直しのための学部教学マネジメント研究会」で作成したカリキュラムツリーを教職員ならびに学生に対しても、「なぜこの科目をここで履修するのか」といったことに対し理解を促すことが求められる。

今年度の取り組み

今年度は、次年度から開始する新カリキュラムの実施に向け、これまで検討してきた内容の点検、ならびに今後の運用にあたり、有効なカリキュラムとして機能するための整備を行う。

3. 学修成果・教育成果の把握・可視化に向けた今年度の取り組み

課題
<p>教学 IR 情報や、近年の成績分布情報などを共有し、GPA や科目の履修状況などを学部 FD にて共有し、新カリキュラムに反映させる必要がある。</p>
今年度の取り組み
<p>カリキュラムマップ：令和 8 年度から開始予定の新カリキュラムに係るカリキュラムマップを整備する。 シラバス：「14 回+オンデマンド授業」実施に際して明らかになった課題を検証し、改善につなげる。 その他（カリキュラムツリー、ナンバリング等）：新カリキュラムをカリキュラムツリーに落とし込み、カリキュラムの構造として問題ないか検討する。</p>

4. 授業科目の到達目標の達成状況および学生の資質・能力の修得状況から明らかになっている課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題	
<p>到達目標の達成状況及び学生の資質、能力の習得状況について、まずは教学 IR 情報等を学部内で共有し、学部の教学上の課題を明らかにするとともに、新カリキュラムにおいて、その課題解決を図るための検討を行う。</p>	
今年度の取り組み	
<p>FD 活動にて、教学 IR 等の情報共有を図り、課題を検討するとともに、新カリキュラムにおいて、その課題解決を図るための検討を行う。</p>	
アセスメントプランの取り組み	
アセスメント科目名	検証方法（在学時）
<ul style="list-style-type: none"> ・社会学入門 A ・社会学入門 B ・演習 I ・演習 II ・プロジェクト演習 I ・プロジェクト演習 II 	<input type="checkbox"/> 外部アセスメントテスト（GPS アカデミック）
	<input type="checkbox"/> 学習成果実感調査
	<input type="checkbox"/> GPA
	<input type="checkbox"/> 在学生調査（在学生生活に関するアンケート）
	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>
	検証方法（卒業時）
	<input type="checkbox"/> 卒業研究・卒業論文
	<input type="checkbox"/> GPA
	<input type="checkbox"/> 卒業時調査（4 年次生調査）
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
取り組み内容（「8 つの資質・能力」の達成方法など）	
<p>アセスメント科目についての教学情報を参考資料としつつ、授業目的等の達成状況及び学生の資質、能力の習得状況を確認し、カリキュラムの改善にどのように生かすことができるか検討する。</p>	
その他	

※この内容は令和 6 年度以降、本学における教学マネジメントの一環として、本学 HP への掲載を検討します。